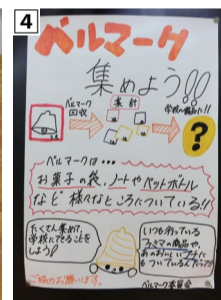


ベルマーク新聞 2月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

地域ぐるみの協力で500万点達成

新潟・長岡市立東北中、強力な助っ人も活躍



①ベルマーク委員会のみなさん
②前列左から、近藤結衣さん、亀山睦さん、横山泰知さん、後列左から、委員会を担当する植村りん子先生、西川隼先生、柳澤歩先生。Web会議システムで放課後の教室とつないだ
③ペットボトルの下部部分などを活用した仕分け道具
④収集を呼びかけるポスター
⑤ベルマークの預金で購入した製氷機

新潟県長岡市の市立東北中学校（淡路弘幸校長、生徒666人）は、ベルマークの集票点数が過去10年で3回県1位になった活発校です。昨年は一度に67万点も積み上げ、累積500万点を突破しました。そこには地域ぐるみの協力と、強力な助っ人の存在がありました。

東北中は1954年創立、1964年からベルマーク運動に参加しています。各クラス2人ずつ出すベルマーク委員会が活動の中心。年に数回ベルマークを集める週間を設け、委員が回収箱を持って朝の生徒玄関に立ちます。

それに加え、年1回の全校をあげた校区の資源回収で、ベルマークがたくさん集まるのが同校の特徴です。地域にはこ

の回収に向けてマークを貯めている人が大勢いるとのこと。「今年度はコロナで回収は中止になりましたが、地域の方には、マークがあれば近くの生徒に渡すよう案内しました」と委員会担当教諭の一人、西川隼先生は話します。

集めたベルマークは委員が昼休みの時間などに交代で会社別に仕分けしますが、それを点数別に集計して仕上げる作業は、ボランティアの亀山睦（ひとみ）さんが一手に引き受けています。2011年春に卒業したお子さんの保護者で、お子さんも3年間ベルマーク委員を務めていました。当時の副校長が卒業式で「学校でできるボランティアを、卒業後も辞めずにかけてほしい」と話したのを受け、マ

ーク整理のボランティアに名乗り出ました。以来ずっと、強力な助っ人として活動しています。

昨年67万点を積み上げることができたのは、ある保護者が大量のマークを提供したためでした。勤め先の会社ぐるみで集めていたマークとのことで、段ボール10箱分もありました。

仕分け作業は大変で、特別支援学級の作業学習の時間も使ったそうです。亀山さんも集計するのに「1か月ほどかかりました」と言います。

累積500万点を達成したときは、ベルマーク委員長の近藤結衣さん（3年）が、お昼の放送で全校生徒に伝えました。「みんな、ベルマークを見逃すことなく切り

取って持ってきてくれる。生徒以外にも多くの方が協力してくれました」と近藤さん。亀山さんに対しても「毎年すごい量のベルマークを作業してもらい感謝しています」と話します。

副委員長の横山泰知さん（3年）は「例年はボランティアを募集することもあるけれど、今年度はそれができず大変」。作業する際も距離をとるようにしているそうです。

担当教諭の一人、柳澤歩先生は自身も東北中出身。「でも当時はなんとなく集めていました。今はちゃんと集めなきゃ、との思いです。次の600万点を目指し、みんなに呼びかけていきます」と話しました。

3000円の商品券が当たる

ユニーと麒麟ビバレッジのベルマーク企画

流通大手のユニーと協賛会社の麒麟ビバレッジ（ベルマーク番号54）は、「麒麟ビバレッジのベルマーク商品を買ってユニーの商品券をプレゼント!!」キャンペーンを展開中です。

ユニーのスーパー「アピタ」「ピアゴ」「ユーストア」で麒麟ビバレッジのベルマーク商品を含む500円以上の買い物をし、そのレシートと商品に付いていたベルマーク1枚以上を、店頭にある専用ハ

ガキに貼って応募すると、抽選で100人に3000円分のユニー商品券が当たります。レシート有効期間は1月18日～2月28日。応募締切は3月1日、消印有効。詳細は専用ハガキをご覧ください。集まったベルマークはハンディのある学校のために使われます。



新しい「ムーチョ」続々

湖池屋、限定商品とリニューアルで

協賛会社の湖池屋（ベルマーク番号77）は、新商品「冬のHOTカラムーチョ」を冬季限定販売しています。「海鮮辛味噌味」と「和牛生姜白湯味」の2種類（いずれも100g、オープン価格）。また、以前好評だった「めっちゃすっぱムーチョ」も復活させました。同社の「ムーチョ」シリーズは昨秋にリニューアルされたばかりで、ベルマークのデザインも変わり、キャラクターの「ヒーおばあちゃん」

「ヒーヒーおばあちゃん」が点数を叫んでいます。「細部まで遊び心を持ち、みなさんに笑顔や元気を与えられるように心がけています」と同社マーケティング本部マーケティング部第1課の小林重文さん。ベルマークにもぜひご注目ください。



ベルマーク便りコンクール2020 入賞校を訪ねて

入賞22校(11月号参照)のうち、2月までにお話を聞くことが出来た6校の記事を掲載します。どれもコロナ禍という状況にもかかわらず、熱意と工夫で活動を続けてくれた学校でした。

佳作 釜石市立唐丹中学校

岩手県釜石市の市立唐丹中学校(菊地正道校長、生徒25人)の生徒会通信は「Level up」というタイトルです。「生徒全員で一緒にレベルを上げ、前に進んで行こう」という思いが込められています。



今年度は九州を襲った7月豪雨で、ベルマークによる支援に集中的に取り組み、生徒会通信でアピールしました。その前向きな姿勢が評価されました。

「Level up」は毎回、生徒会長の久保翔太さん(3年)、副会長の中居林優心さん(3年)、執行委員の鈴木春花さん(2年)と武藤詩織さん(2年)、応援団長の尾形愛さん(3年)という執行部5人全員が作成に携わりました。ポイントは「活動の写真や生徒の考え、感謝の言葉を入れること」だったそうです。

熊本県を中心に九州各地に被害をもたらした7月豪雨。それを知った副会長の中居林さんは「東日本大震災のとき支援してくれた西日本の方々に、感謝の気持

ちを送りたい」と考えました。東日本大震災で唐丹中は校舎が一部損壊。近くの唐丹小は津波で全壊しました。今は2校で新しい校舎を共有しています。

中居林さんは、さっそく自分たちに出るようなことを書いたメモを作りました。その中にベルマークを活用した支援というアイデアがあり、生徒会での実践が決まりました。目標は2万点です。

最初は全校生徒と15人の教職員で活動を始めました。でも「もっと支援の輪を広げたい」と商店や公民館などに直談判し、回収箱を設置してもらいました。また9月を「ベルマーク回収強化月間」とし、唐丹小の全校児童45人やその保護者も引き込んで多彩な活動を展開。その



結果、見事に目標点数を達成しました。「中学生だけでは成し遂げられない多くの点数を集めることが出来た」と5人は実感したそうです。

今後、熊本県球磨郡の中学校に必要な備品を贈る予定です。

優秀賞 杉並区立桃井第三小学校

東京都杉並区立桃井第三小学校(末永弘校長、児童452人)は今年度、「集まらなくてもできるベルマーク活動」に取り組んでいます。子どもたちの協力を得るため、説明用の動画も作成。この動画が評価のポイントになりました。



コロナ禍で今年度のPTAは当初、役員以外の係が決められず、副会長の一人、本村由美さんがベルマーク担当を兼ねることになりました。本村さんは仕事を休んで来る人もいた従来のベルマーク作業に疑問を感じていたそうです。「誰もが簡単にできて効率的な方法があるはず」。他の役員とも話し「集まらなくてもできる」新しい方法を検討しました。

それが「ベルマークポケット」の採用。子どもたち自身が、持参したマークを会社番号別に入れていく仕組みです。ポケットは本村さんが100円ショップで材料を買って作りました。

動画も本村さんの作。「子どもの誕生日に動画を作った経験が役立ちました」。1年生でもわかる内容を心がけ、集中が続くよう5分以内にまとめました。

最終的な仕分け・集計は保護者の自宅作業になりました。本村さんは、作業手順書や整理袋を入れた作業キットも用意しました。活動の変更は保護者へのお便りで周知し、動画はYouTubeにアップ。QRコードをお便りに載せました。学校も協力し、2学期になると各クラスで動画を上映してくれました。

こうした準備を重ね、ベルマークポケットは10月中旬、校舎1階の廊下に常設されました。今後さらに改善してスムーズな体制を整えていく予定です。

「子どもたちのために何かをしたいのに、時間を割けない方も多い。コロナ禍もあって、活動を変えることへの理解がありました」と本村さん。負担を減らしたうえで、新たに導入したウェブベルマークとの両立を目指したそうです。



特別賞 町田市立成瀬台小学校

東京都町田市の市立成瀬台小学校(中村雄一校長、児童638人)が初応募で特別賞を受賞しました。「ベルマークだより」を発行するPTA家庭学級委員会は、昨年度から活動活発化の取り組みを進め、その一つがお便りの見直しでした。

きっかけは、昨年度のベルマーク担当だった鷺津宏子さんが5月に町田市で開かれた運動説明会に参加したことでした。そこで、ベルマークがハンディのある学校への支援になると初めて知りました。それまで「正直、面倒だと思っていた」そうですが、「気付いたら前のめりになって聞いていた」と笑います。

趣旨に共感した鷺津さんは、活動の活性化をメンバーと模索。認知度の低かつ



た運動の持つ役割を広めようと、「周知活動」を1年間のテーマに決めました。

それまでテンプレートに沿って作っていた「ベルマークだより」は、新たに商品



画像を取り入れたり、フォントを工夫したりして、見栄えをアップしました。みなで話し合いながら内容を決めていくそうです。また、回収箱を目立つデザインにリニューアルし、PTA室前の掲示板には大きなベルマークコーナーを設けて飾り付けました。

年賀状印刷でインクカートリッジが意識にのぼる年末年始には「ベルマーク回収強化期間」を設定。校内放送などで呼びかけました。校外のデイケアセンターやコンビニ、飲食店にも回収箱設置の「営業」をかけ、子どもたちには「ベルマークで買ってほしいもの」のアンケートを実施しました。保護者にウェブベルマークをアピールするためQRコード付き腕章を手作りし、運動会で委員が着用して宣伝しました。

コンクールの賞金の使い道は、子どもたち全員が読めるよう、図書室に置く本が候補になっているそうです。

特別賞 練馬区立立野小学校

東京都練馬区立立野小学校(幅=はば=健司校長、児童483人)ではコロナ禍の今年度、PTA代表委員会の10人がベルマーク活動を展開。学級活動・行事部長の木曾真弓さんが中心になって作ったお便りが特別賞に輝きました。

いつもは年2回、児童たちがベルマークを持参して担任に提出。1～4年の各



クラスから募った保護者のベルマーク係が主に仕分け・集計します。ところが今年度はコロナ禍でPTA活動が大幅に縮小、ベルマーク係はなくなりました。でも活動自体はなくせないと、木曾さんたち代表委員会が作業を引き継いだそうです。応募の手紙には「子どもたちのためにベルマークだけは続けることに決めました」と書かれていました。

同校のお便りの特徴は、裏面に描かれた折り線で折ると回収袋になること。そこに今年度、新たな試みが加わりました。後々の手間を省くため、保護者や子ども

たちに、あらかじめマークを仕分けをお願いするYouTube動画を作り、そこに誘導するQRコードを掲載したのです。

動画を作ったのは木曾さん。ベルマークを会社・点数別にテープで貼りつなぐ方法を実演し、自らスマホを固定して撮影しました。臨時休校などでPTA活動が止まっていた間に「お便りで伝えにくい部分も、動画なら分かりやすい」と考えついたそうです。お便りは7月に保護者に配布されました。

木曾さんは「鈴刻印(ベルマーク)浪漫」と題した手書きの印刷物も作りました。人気アニメ「鬼滅の刃」を題材にとった物語で、舞台は現在の学校、「鬼」は新型コロナウイルスです。11月に校内に掲示した後に配布され、子どもたちの人気を集めたそうです。

受賞について木曾さんは「驚き、喜び、そして、お便りを作ってよかったという達成感がありました。コロナ禍でも力を合わせて何かを成し遂げることが出来たのはうれしい」と話しました。





ベルマーク便りコンクール2020

優秀賞 岸野保育園

長野県佐久市の岸野保育園（鷹野正子園長、園児169人）は、過去10年の応募で、佳作4回と特別賞の成績を残しています。今年度は、コロナ禍の中、毎月お



便りを発行していることが評価され、見事、優秀賞に選ばれました。

活動の主体は、保護者有志のグループ「ベルちゃんず」の13人。20年ほど前、園の職員から活動を引き継ぎ発足したそうです。回収日は月1回で、会の2人が当番として回収作業と仕分けをします。集計はメンバー全員に呼びかけて年1、2回実施します。

お便りは、A4判1枚をメンバーが交代で作成し、毎月発行。季節や時々の行事にちなんだベルマーク商品を取り上げているのが最大の特徴です。また、その月の回収日時と場所は必ず掲載します。

回収日は子どもや保護者がベルマーク、カートリッジ、テトラパックを持参

します。マークを提出した子どもは、好きなスタンプを連絡帳に押すことができ、それがとても人気だそう。収集後は、当番の2人と作業に参加できるメンバーがマークを仕分けします。代表の櫻井恵美さんは「働きながらの活動は大変な面がありますが、楽しく作業しています。園や子どもたちのために少しでも役立てればという思いです」と話します。

会では、回収箱を園のテラス脇に常設。給食で出る牛乳のテトラパックは、職員が洗って乾かしますが、回収箱に入れる際には子どもたちが手伝ってくれることもあるそうです。

昨年の全国一斉休校時、地域では感染者が少なかったことから、同園は登園保育を続けました。「コロナだから活動を止めよう、という話は一切出ませんでした」と櫻井さん。とはいえ今冬は県内でコロナ感染が拡大。このため1月の回収日は収集場所を屋外のテラスに移し、人気だったスタンプ押しも中止しました。会



は、感染対策を取り、できることを工夫して活動を続けているそうです。

特別賞 多治見市立精華小学校附属愛児幼稚園

岐阜県多治見市にある市立精華小学校附属愛児幼稚園（市原浩代園長、園児117人）が、初めての応募で特別賞を受賞しました。コロナ禍でいつも通りのベルマーク活動をするのは難しくなりましたが、時間に余裕ができたことを逆手に取り、お便りを作成しました。



保護者でつくる育友会の厚生委員会が、ベルマーク活動や資源回収、奉仕作業を担当しています。今年度は19人。いつもは年4回、子どもたち経由でマークを集め、仕分け作業をして年1回発送します。地元の公民館にも収集箱を設置しています。

新年度を迎えた昨年4月、コロナ禍で幼稚園も休園となり、委員会活動も休止を余儀なくされました。しかし「時間が生まれたおかげで、ベルマーク財団のホームページを丁寧に読み込むことが出来ました」と話すのが、委員長の杉村渚さん。委員会では今までベルマークに特化したお便りを出していなかったことから、「活動を保護者全員に知ってもらい、理解してもらおう」ため、新たに作成することになりました。

A3判用紙いっぱい情報に盛り込まれた「創刊号 ベルマーク」は、委員の木村奈実さんが「わかりやすく、読みやすく、親しみやすく」をモットーに、全て手書きで仕上げました。マークやお金の流れ、協賛・協力会社の説明、2019年度の購入品と集票点数、運動が始まったきっかけ……と盛りだくさん内容。太字と細字、文字とイラストのバランスが良く、とても読みやすいです。

園にある掲示板もベルマークの周知に活用。「ベルマークをあつめよう!!」という台紙に、ベルマーク手帳の協賛会社紹介ページを順番に貼り出しています。

市原園長は「皆様のおかげで幼稚園に活気が生まれ、子どもたちが健やかに育っていることを実感している」と言います。コンクールの賞金の使い道は、資源回収で集めたアルミ缶を入れる箱の製作費。設計から製作まで、すべて保護者が担うそうです。



ボールやミシン、「カホン」も

財団からの支援品、ただいま活用中

今年度の東日本大震災支援対象校のひとつ、岩手県大船渡市立盛小学校（大和田典明校長、児童120人）から、支援で贈られたソフトバレーボールを掲げた子どもたちの写真が届きました。当たっても痛くないので学年を問わず人気のこの



また同校は支援で電子ミシンも購入し、5年生がエコバッグを作る学習で使う予定です。

今冬の大船渡は雪が多いとのこと、「昨年12月から10cmほどの積雪が何度もありました。例年と比べて桁違いです」と村上千賀子副校長。でも子どもたちは元気に雪の上を走り回ったり、雪だるまを作ったりしているそうです。

ペルー発祥の打楽器「カホン」を演奏する児童の写真を送ってくれたのは、福井

県立清水特別支援学校（細川裕校長）の原田由香里先生。四角い箱の上に座り、前面を手でたたく楽器です。今年度の財団からの支援で購入、「全ての音楽の授業で大活躍」だそうです。他にデジタルカメラなども購入し、この写真も実はそのカメラで撮りました。

小・中学部で14人の子どもたちと、福井南特別支援学校高等部清水分教室として6人の高校生が学ぶ同校は、県内では一番小さな特別支援学校だそう。「だからこそ、子どもたちの顔や名前、健康状態なども教職員間で共有し、安全・安心な学校生活をサポートできるよう心がけている」と原田先生は言います。近隣の学校との交流も盛んで、地域全体で子どもたちを見守っています。



神奈川県のある小学校から先日、ベルマーク財団に相談がありました。財団を介して毎月のようにベルマークを寄贈して下さる方がいるけれど、どんな方か知りたいというのです。調べてみると、寄贈は一昨年から始まったようです。初めは4万点弱のベルマークが財団に届きました。その後は毎月のように3000〜4000点ずつ送られてきています。いずれもきちんと仕分けされてきました。いったいどんな方なのでしょう。財団から連絡をとってみました。詳細については明かしてもらえませんでした。この学校の卒業生であることは教えてくれました。母校へのベルマーク寄

「私の慈善事業」

寄贈マークを巡る、あるおはなし

財団では、被災校支援などに活用している寄贈マークのほかに、母校など特定の学校にマークを送ってほしい、という申し出も受け付けています。ただ、そうした場合は、マークの仕分け・集計を済ませてからお送りいただくよう、よろしくお願い致します。

贈は「私の慈善活動」であるとし、お礼状のようなものについては「そういう事が目当てではない」ときっぱり。そして、これからも頑張るベルマーク運動をしていくとのことでした。学校にそのことをお伝えしました。卒業生が母校のためにしていることだと分かって「非常にありがたいです」と喜んでいました。

新入学おめでとう大会 オンラインで開催

新1年生となるお子さまとその保護者を対象にしたイベント「新入学おめでとう大会」（小学館主催、朝日新聞社後援）を紹介し、オンライン開催なので自宅から参加できます。参加無料。詳細は <http://t.asahi.com/ichinen> をご覧ください。申込締切は3月1日です。

小学校はどんなところか紹介する映画や交通安全の話、みんな大好きドラえもんショーなどのプログラムが組まれています。問い合わせは大会事務局（03-5315-0753、平日11時～17時）へ。



大台達成校

三ツ沢小	横浜市神奈川区	9,027,156
豊科南小	長野県安曇野市	5,010,553
都賀小	千葉県稲毛区	4,018,429
市原小	千葉県市原市	3,003,114
湖南小	長野県諏訪市	3,022,335
平岡東小	兵庫県加古川市	3,020,920
与野南小	さいたま市中央区	2,019,793
木の実幼稚園	松山市	2,027,595
第二福田小	岡山県倉敷市	1,005,794
春日野小	広島市安佐南区	1,004,824



読んでみたい本 児童文学評論家・藤田のぼる

絵本

『みたら mirareta』(たけがみたえ・作、アリス館)

いつものことながら、絵本らしい絵本であるほど、紹介が難しい。こちらが視線を送ったら、倍の(?)視線が返ってきた—そんなふう感じたことはありませんか? この絵本は、そんな瞬間を「みたら」「mirareta」の繰り返しの途中で切り取っていきます。ユーモラスでもあり、ドキッとさせられるようでもあり、そしてその繰り返しがどんなふうラストまで展開していくのか、という所も含め、また木版の質感を生かした絵も実にぴったりで、見事な絵本でした。(低学年から、1500円+税)



『せかいでさいしよにズボンをはいた女の子』(キース・ネグレー作、石井睦美・訳、光村教育図書)

最初にズボンをはいた女性の一人として知られるメアリー・エドワーズ・ウォーカーは、女性医師が世の中



に認められない時代、医学部を卒業し、軍医として南北戦争に従軍、その後も女性の選挙権などを訴え続けました。このメアリーの少女時代、初めてズボンをはいた時のことが、コミカルとも思えるタッチの絵で描かれています。「きみは、男の子のふくをきていないか」と問い詰められたメアリーが、「わたしはわたしのふくをきているのよ」と答える場面が印象的です。実際、大人になってズボンをはいていることを理由に何度も

逮捕されたメアリーの言葉であることが、後書きで紹介されています。(低・中学年以上向き、1500円+税)

低・中学年向け

『泣き神さまサワメ』(横山充男・作、よこやまようへい・絵、文研出版)

そうたは自他ともに認める泣きむしで、宿題を忘れた時、給食をこぼした時、犬にほえられた時と、泣くタネにはことかきません。さすがに三年生にもなって直さなければと、近くの小さな神社でお参りすると、巫女のかっこうをした女の子が出てきて、どうすればそんなに泣けるのだ、と逆に聞かれます。サワメと名乗った女の子は、実は神様で、いや神様になるために修行中での神社にやってきたばかりで、期限内に人のために泣けるようにならないと、消えてしまうというのです。泣きむしの子が主人公の物語はいくつもありますが、泣くことがどういう行為なのかということ、サワメの「泣くための修行」を通じて考えさせてくれるところがユニークでした。(低・中学年向き、1300円+税)



『みんなふつうで、みんなへん。』(耕野浩一・文、内田かずひろ・絵、あかね書房)

「赤いのと迷いながらも買って来たオレンジ色のボールの話」から「雨上がり虹のふもとを見るためにみんないっしょに走った話」まで、15の掌編が並んでいます。それぞれの主人公は3年生のクラスメートで、最初の「赤いのと……」は、中田宏和



君の話。先生から「明日はボールをわすれずにね」と言われ、前からほしかったオレンジ色のボールを買います。ところが次の日、先生が言ったのは容れ物の「ボウル」だったことに気づかされます。隣の席の多緒さんが、自分のボウルと一緒に使わせてくれました。そして、次の話

高学年・中学生向け

『チェリーシュリンプ—わたしは、わたし—』(ファン・ヨンミ作、吉原育子・訳、金の星社)

主人公は中学2年生のキム・ダヒョン。新年度がスタートし、仲のいい子と同じクラスになれるかどうか……というところから物語が始まります。小学校5年生の時仲間外れになってつらい思いを経験しているダヒョンでしたが、その後仲良し「5人組」の一人として楽しく過ごしてきました。しかし、本当は読書やクラシック音楽が好きだダヒョンも、そうした自分を出すことは「マジメ虫」と言われそうに抑えてきました。新しいクラスでは5人組のうち二人とは同じクラスになりましたが、隣の席になったノ・ウンユは、5人組の「憎まれっ子りすと」の2番目にいる女の子でした。ところが、クラスの課題で4人ずつの班で新聞を作ることになり、5人組の他の子たちの視線を気にしつつも、ダヒョンはウンユのことをいろいろ知っていきます。そして、周りの子たちの思惑ばかりに捉われていた自分に息苦しさを覚えていきます。「チェリーシュリンプ」は観賞用の淡水エビのことで、その脱皮する姿に惹かれ、ダヒョンは自分の匿名ブログのタイトルにし、そこだけが自分の思いを率直に語



はその多緒さんが主人公、というふうには、リレー式で話がつながっていきます。「小学生あるある話」という感じでもありますが、「赤いのと……」の終わりが、放課後友だちとそのボールで遊ぶ場面で終わるように、どれも後味の良さが光ります。(中学年以上向き、1200円+税)

れる場でした。

韓国の現代の作品が紹介される機会はまだまだ少ないですが、ダヒョンたちの日常は日本の中学生たちのありようを映し出す鏡のようでもあり、深い共感をもって迎えられるに違いありません。(高学年・中学生以上向き、1400円+税)

『アテルイ 坂上田村麻呂と交えたエミシの勇士』(おおぎやなぎちか・作、江頭大樹・絵、くもん出版)

奈良から平安時代初期にかけて、北への侵攻を続ける朝廷軍に対して戦ったエミシたち。中でも、アテルイの名は、彼を都に伴った坂上田村麻呂の名と共に、記憶されています。「敗者」であるアテルイやエミシたちの思いは歴史の表には浮上してきませんが、著者はアテルイの生い立ちや生涯について、大胆な推測もまじえながら、一人の人間として苦悩する姿を描きます。また田村麻呂についても、エミシの「敵」でありつつアテルイの理解者として複雑な立場にある存在として造形しており、歴史の渦に懸命に抗った二人の姿が心に響いてきます。また、アテルイの母や姉サラ、妻となるヤヌルといった女性たちの生きざまも印象的でした。(高学年以上向き、1500円+税)



ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈震災寄贈〉 12月21日～1月20日

北海道 (株)NTT 東日本サービス札幌センター 岩手県 岩手県立盛岡となん支援学校PTA 宮城県 千葉 秋田県 大正琴あきた 大源洋治 茨城県 匿名希望 栃木県 赤星田鶴子 鈴木奈緒 鈴木めぐみ 野中のぞみ 群馬県 狩野芳幸 埼玉県 藪陽一 関明子 阿部聡子 佐藤優子 千葉県 関田元子 藤原知美 (株)シンク・ラボラトリー 工藤雅敏 東京都 飯島久美子 長谷川徳子 山田こずえ 松木雅 (株)アンセム 倉田由美子 時光花 池田貴子 金沢みのり 小林恵美 日本基督教団小金井緑町教会 甲斐政江 諏訪しおり 石原ゆき 成輪香生子 匿名希望 神奈川県 片野千香子 尺英也 大西金属(株) 水谷恭仁子 ビーエルスチール(株) 匿名希望 新潟県 杉本裕子 富山県 大聖奈保子 長野県 平沢均美 岐阜県 東みどり 静岡県 福塚里美 岡田典子・奈己 愛知県 (株)ホットスタッフ 森島春恵 岩崎美香 小久保よしの 町園裕子 入江延代 瀧瀬恵子 五十嵐佳奈 田部浩代 竹内 三重県 前田範子 川村佳子 滋賀県 まるとく陶器 京都府 小南明香 中尾幸重 大阪府 坂口なおみ 前川陽子 高瀬美恵子 兵庫県 健斗 吉田崇規 山崎ゆり子 奈良県 宮崎新嗣 広島県 安田女子大学家政学部生活デザイン科二年 田中純子 香川県 大石敬子 高知県 北川中学校 福岡県 武田綾奈 ニッカウキスキー(株)門司工場 大山佳代 富田徹 匿名希

望 熊本県 田添亨子 大分県 江口博美 無記名=33件

〈一般寄贈〉 12月21日～1月20日

北海道 長井美香 匿名希望 宮城県 貝塚友香 秋田県 阿部幸子 福島県 小林博子 茨城県 シティーナ神立 茨城県にゃんじえ 改 東峰安代 匿名希望 栃木県 大塚正志 毛塚早苗 塩幡保浩 群馬県 宇敷みゆき 埼玉県 (医)大渡歯科 田口飛翔 朝霞市東朝霞公民館 鳥野美里 木村恭子 澤本奈緒・雛子 鈴木秀一 橋本典子 井坂八重 竹内寿治 坪田春菜 鳩岡恵子 千葉県 五十嵐優 東本ひろ 植松孝治 三井住友信託銀行津田沼支店 アルフィーのマニア 宍倉洋介 高野二三男 藤原壘 湯本 横山早江子 花井勇 匿名希望 東京都 小峰洋子 高梨恵 ハンガーワールド 市川佳世子 久保田典子 渡邊美和子 飯村茂子 北澤勉 木村才子 齊藤啓子 平野美穂 福本郷子 松延佳代 由川貴子 吉田みどり AlexBaker 濱田真実子 渡部 絢子 塩谷治彦 寺田真人 橋本嘉代子 堀澤 淑江 松坂博之 城南信用金庫 秋葉一穂 高橋雅枝 東京冷機工業(株) 山崎郁子 J&J愛をささやく 中村英恵 仁井田和美 米本彩社 中井 匿名希望 神奈川県 枝広智恵子 武士恵美 川崎久美子 阿部千栄子 白井英子 中山朋美 柳沢紀子 四ツ橋准子 梅原敏弘 東芝プラントシステム(株)経理部・IFRS・J-SOX

対応推進部 ASA二俣川 加藤祥子 黒川ララ 青木美詠子 池原亨子 中島真 山口恵子 匿名希望 新潟県 石井隆広 地域密着型複合施設わしま 長嶺寛子 石川県 熊野芽美 沖恭子 匿名希望 長野県 伊藤伸子 金井はるみ 塚田康子 大村君江 岐阜県 藤井優代 立正佼成会中津川教会多治見支部 渡邊虹太 静岡県 島中將也 前川恵子 沖佳 島山将也 愛知県 鈴木悦子 トヨタ自動車(株)計測・デジタル基盤改革部 CT912 野原和枝 ヤマト運輸労働小牧支部 小林 (株)ジェイエスピー 鈴木凛大 東芝ライテック(株)今治事業所 平岩 瑞希 松永尚登 見崎美好 加藤万里子 川井 弘志 萩原 (株)デンソー 匿名希望 三重県 佐々木克広 中野恵子 滋賀県 井上 京都府 松川紀子 大阪府 中川宗城 早石喜代美・親戚一同 松木雄介 明治安田生命保険相互会 社大阪お客さま相談センター 大西祐子 永野美香 松本由美子 大垣書店高槻店 豊中市 青少年健全育成会豊島北小学校区 匿名希望 兵庫県 (株)総合印刷高永 藤井和代 生活協同組合コープこうべ第1地区本部「ベルすみれ」 藤原邦造 アイスター商事代理店松本雅子 小野和美&有志一同 原田菜穂子 和田奈緒 奈良県 山中肇 下山大輔 當麻恵 鳥取県 永原千恵 岡山県 アサヒ飲料(株)岡山工場 広島県 山根圭二 佐藤玲 山口県 福島ゆかり 徳島県 板東博信 香川県 大石敬子 生橋 瑞紀 愛媛県 ベルボラ愛媛 福岡県 重久利

子 佐野憲忠 (医)南島整形外科 馬場邦子 吉田稔 長崎県 久保山繁樹 熊本県 牧山 健二 大分県 井上義雄 鹿児島県 上園浩二 沖縄県 大嶺さつき 無記名=55件

〈友愛援助申し込み〉 1月1日～1月31日

宮城県 仙台YMCA幼稚園(仙台市青葉区) 山形県 山形県立鶴岡養護学校(鶴岡市) 寒河江小(寒河江市) 福島県 福島西高(福島市) 栃木県 大沢中(日光市) 埼玉県 まつたけ幼稚園(行田市) 加治小(飯能市) 東京都 恵泉女学園中・高(世田谷区) 神奈川県 子安小(横浜市神奈川区) 依知南小(厚木市) 新潟県 第一中(柏崎市) 長野県 吉田小(長野市) 永明小(茅野市) 岐阜県 岐阜北高(岐阜市) 静岡県 芳川小(浜松市南区) 中野学園オイスカ高(浜松市西区) 愛知県 岡崎商業高(岡崎市) 大阪府 今市町(大阪市旭区) 兵庫県 香住第二中(香美町) 渦が森小(神戸市東灘区) 和歌山県 海南高(海南市) 岡山県 西中(倉敷市) 山口県 萩光塩学院(萩市) 長崎県 大野 木場小(南島原市) 三井楽中(五島市)

寄付してくださった方

1月 北沢勉